令和４年　５月　１６日

学校名　　　明生小学校

学校長名　　小林　信吾

令和４年度 校内研究実施計画書

１　研究主題及び教科

|  |  |
| --- | --- |
| 研究主題 | 自分の考えをもち，伝え合う子どもをめざして～ICT機器を活用した授業づくり～ |
| 教科・領域 | 全教科 |

２　主題設定の理由

|  |
| --- |
| ２０２０年度には，「自分の考えをもつこと」と「まとめやふりかえりの方法」，２０２１年度には「自分の考えをもつこと」と「考えを伝え合うこと」を研究主題に設定し，算数科の授業の研究を進めてきた。この２年間の研究を通して，教材や教具を工夫することで，算数が苦手な子どもでも考えをもつことができたり，領域を限定することで該当する領域の系統性を意識したりすることができた。また，子どもたちには自分で考えをまとめたり話したりする力が，少しずつではあるが身についてきた。一方で，以下のような課題が見えてきた。①既習内容や各単元での学習内容が定着しないため，自分の考えをもつことができない。　国語科における「読解力」や家庭学習への意識の低さが主因となって，既習内容が定着していない児童が多い。そのため，既習内容を活用した課題解決ができなかったり，各教科・各単元の学習を「つなげる」ことができなかったりするようすが多く見られる。②自分の考えを積極的に伝えようとしない。「自分の考えがもてない」，「どのように説明すればよいのかわからない」，「うまく友だちに伝わらないかもしれない」などの様々なマイナス感情が影響し，授業で自分の考えを発表できる児童が限られている。③友だちの考えを聞く意識が低い。　友だちの考えを聞いて課題の解決につなげたり，自分の考えを深めたりする意識が低く，学習への苦手意識がさらに増してしまう傾向がある。この２年間もこれらの課題や背景を解消するために，様々な研究・指導に取り組んできたが，児童の実態を的確にとらえ，より適切な学習指導を進めていく必要がある。また，昨年度からＧＩＧＡスクール構想に沿って児童一人につき一台のクロームブックが配当されたことを受け，ＩＣＴ機器やデジタル教科書，クロームブックを活用した授業に関する研究も必要になっている。算数科に限らず，各教科でICT機器を活用する機会を積極的に設定し，児童の学習意欲を向上させることで，様々な「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力等」を育んでいかなければならない。　以上の経過を踏まえ，今年度は研究対象とする教科を全教科に拡大し，ICT機器の活用を通して，児童一人ひとりが自分の考えをもち，考えを伝え合う姿をめざす。 |

３　研究内容及び方法

|  |
| --- |
| （研究の柱）今年度からは，主にICTを授業の中でどのように活用していくかを研究していく。その活用場面については，様々な想定が可能である。　例えば，自分の考えをもたせるための教材・教具としての活用である。児童の興味関心をひいたり，ヒントとなるカードを提示したり，既習事項の復習として活用したりもできる。他にも，自分の考えを伝え合う活動においてプレゼンテーションソフトを用いたり，単元を通したふりかえりシートをICTを活用して残したりすることもできる。　各教科の性格や児童の実態などに応じて活用できるツールは多岐にわたると考えられる。今年度はICTをどのように活用できるのかを模索していくことが多くなると考えられるので，様々な実践を共有したい。（本年度の重点）ア．授業力UP５を意識した授業づくりイ．読書活動を充実させ，児童の表現力・説明力・読解力を向上させる。 |

４　年間研修計画

|  |  |
| --- | --- |
| 一学期 | ４月２０日　第１回全体研修会（研究の概要，指導案の書き方）　７月　６日　第２回全体研修会（中学年部研究授業，指導主事招聘）　７月下旬　　第３回全体研修会（本校の課題分析，ICT実践交流，指導主事招聘予定） |
| 二学期 | 　９月２９日　第４回全体研修会（低学年部研究授業，指導主事招聘） |
| 三学期 | 　２月　１日　第５回全体研修会（高学年部研究授業，指導主事招聘）　２月中旬　　第６回全体研修会（リフレクションシート交流会）　３月上旬　　第７回全体研修会（今年度のふりかえり，来年度に向けて） |